

送辞

肌を刺すような冷たい外気がいつのまにか和らぎ、吹く風に春の訪れを感じるようになりました。卒業生の皆様、本日はご卒業おめでとうございます。在校生一同、心からお祝い申し上げます。

初めて袖を通した真新しい制服に身を包み、期待と不安を胸に法政高校の門をくぐられてから3年の月日が経ちました。コロナ禍の影響を受けながら始まった/先輩方の高校生活。喜びや達成感はもちろん、時には困難や葛藤もあったことと思います。しかし、そのすべてを乗り越え、本日この晴れの日を堂々と迎えられた先輩方の姿に、私たちは心からの敬意を抱いております。

私たち在校生にとって、先輩方は常に憧れの存在でした。勉学に励み、部活動に打ち込み、学校行事を全力で楽しむ姿は、私たちの目標となるものでした。また、先輩方のたくさんの助言や思いやりは、辛いときを乗り越える大きな支えになりました。そんな頼もしい先輩方の背中を、もう明日から見るができないと思うと、憧れ、追いつけてきたその背中が、さらに遠くなってしまうようで寂しさが込み上げてきます。

これからそれぞれの道へと進まれる先輩方。その道には、たくさんの挑戦や出会いが待っていることと思います。時には立ちどころ壁に、挫折そうになることもあるかもしれません。しかし、法政高校で学び、培われた経験や絆は、必ずや皆様の支えとなると信じています。どうかこれからもご自分を信じ、それぞれの道を力強く歩んでいってください。

私たち在校生も、先輩方とのかけがえのない思い出と受け継いだ意思を胸に、これからも精一杯の努力をしてまいります。

最後になりましたが、卒業生の皆様のさらなるご活躍とご健康をお祈りして、そして心からありがとうと付け添えて送辞とさせていただきます。

2025年3月8日 卒業生代表 岩木優沙